

実施状況等調査報告書

令和8年1月14日

目的	公益財団法人中島記念国際交流財団助成による2025年度留学生地域交流事業に係る実施状況等調査
調査団体	ふくやま国際交流協会 (広島県福山市東桜町町)
事業名	びんご多文化フォーラム2025
調査団体対応者	ふくやま国際交流協会 事務局員 木原 早織
機構実施者	留学生事業部留学生事業計画課支援計画係 専門員(併) 係長 太田 賢一 主任 麻上 純
調査日時	1. イベント見学:(機構実施者:太田、麻上) 令和7年12月21日(日)10時00分~14時00分 2. ヒアリング:(機構実施者:太田、麻上) 令和8年1月14日(水)11時30分~12時00分
実施形態	1. イベント見学:対面 2. ヒアリング:オンライン(ZOOM)
報告事項	<p>1. イベント見学について</p> <p>1) イベント名:びんご多文化フォーラム2025</p> <p>2) 参加対象:外国人留学生、日本人学生、地域住民等</p> <p>3) 参加者数:93名 ※外国人留学生28名、日本人学生18名、地域住民28名、申請団体スタッフ5名、その他13名</p> <p>4) 概要:</p> <p>外国人住民と日本人住民が住んでいる地域を越えてつながり合い、理想のまちや暮らしについての意見交換等を行うことで、誰もが活躍できる多文化共生のまちづくりに向けた地域全体の意識醸成を図ることを目的として、事業が実施された。イベントは2部構成となっており、以下が概要である。</p> <p>1. グループワーク</p> <p>グループで4つのテーマについて考え、「住み続けたいまち」に向けた意見交換を実施。</p> <p>テーマ①あなたのまちのいいところは?</p> <p>テーマ②あなたのまちにはあって、東京や大阪にないものはどんなもの?</p> <p>テーマ③もっとこうしたらいろんな国のひとが住みやすいかも、と思うことは?</p> <p>テーマ④暮らしやすいまちにするために、自分たちにできることは?</p> <p>2. ステージ鑑賞・交流タイム</p> <p>各国の文化に触れてもらうため、琴の演奏や中国舞踊などを鑑賞し。その後、備後圏域の観光地などを知ってもらう機会として、グループ対抗の「びんごでビンゴ」を行い、交流を深めた。</p>

【写真】

(イベント実施の様子①)



(イベント実施の様子②)



(イベント実施の様子③)



2. 実施状況等調査（ヒアリング）について

・概要：

予算がかなり限られていたため、十分な周知が困難であったが、当事業の助成により、地域の学校や日本語教室及び飲食店に対して、郵送による周知が可能となり、参加者の増加に繋がった。

アンケートについては、回答率を上げるため、回答者に対して菓子を提供する工夫等を行った結果、参加者全員から回答を得ることができた。回答内容についても、満足度が非常に高く、来年度の当事業への申請に向けて弾みのつく結果だった。

予算計画については、会場として想定していた福山市の公共施設が、選挙のため使用不可となり、有料の会場を借りることとなった。もともと会場借用費は計上していなかったが、通訳者としてボランティアスタッフを活用し、その分の予算を会場借用費に流用することにより、予算内での開催が可能となった。

予算の管理については、会計担当者に当事業の手引きを共有し、執行内容の適正について確認しながら行った。

参加者からも「外国人留学生が地域の住民と交流できる機会は限られており、今回のイベントを通じて地域の人々と触れ合う良い機会になった」といった声が聞かれ、有意義なイベントとなった。イベント担当者からは、助成金により、幅広く事前周知できたことで参加者の増加に繋がったことから、当事業に対する謝意の言葉があった。

(ヒアリングの様子)

